

二宮尊徳翁生誕の地 小田原での水稻栽培

梅
みかん
オリブ
イチゴ
畜産
水
稲

明治 42 年から栽培されていた

酒匂川を中心とした肥沃な足柄平野では、水田作付を中心に近代以降順調に発展を遂げていました。明治後期には、足柄平野での農業は水田が中心で、裏作に麦を栽培し、一頭の馬を使用し、あとは家族労働によって経営するという形が典型的でした。

高度成長期前には水田面積の方が樹園地よりも大きかったですが、高度成長期以降は、みかんを中心とした樹園地の作付面積が逆転し、市の主要産物は水稻栽培から果樹栽培へと変化していきました。しかし、酒匂川を中心とした平野である栢山地区では、今でも水稻栽培は盛んに行われ、二宮尊徳翁生誕の地として、「積小為大」の教えを伝えています。



栢山地区での地元農家団体の活動

金次郎のふる里を守る会

金次郎のふる里を守る会は、神奈川県「里地里山保全等地域」に選定された「東栢山地域」で、里地里山の保全活動を行っている団体です。二宮尊徳翁の教えの「推譲（世のため人のために尽くすこと）」をモットーに、地域貢献の作業奉仕をするともに、東栢山地区の自然環境を守り、次世代に引き継ぐため、水田等の保全活動を実施しています。

3月下旬 菜の花まつり

広がる田んぼに咲く一面の菜の花！
春の訪れを感じながら、菜の花の摘み取りを楽しみます。
また、新鮮な地産野菜の直売なども行われます。



6月上旬 田植体験

江戸時代に農政家として活躍した二宮金次郎のふる里で、子どもたちは、水田に素足で入り、手植えを体験！
大地とふれあひながら「食」に対する認識を新たにします。



7月下旬 生き物観察会

小学生の夏休みと、「中干し」の時期に合わせ、東栢山の自然環境（農業用水路）の中での魚捕りと生き物観察会！！
ドジョウ、ザリガニ、オイカワなどの生き物と出会えます。



10月上旬 稲刈体験

秋の柔らかな日差しに照らされ黄金色に輝く稲穂！！
これらの景観は、二宮尊徳翁が見たであろう200年前と変わらぬ魅力を有し、小田原の原風景とも言えます。



小田原地域で栽培される主な品種

キヌヒカリ（うるち米）

神奈川県で最も多く作られている品種である。飯の炊きあがり絹のようにツヤがあるのでキヌヒカリ。
粘り（ねばり）のある美味しいお米。

さとじまん（うるち米）

神奈川県でしか食べられない新しい品種粒が大きく粘りのある美味しいお米冷めても味が落ちにくい。

喜寿糯（もち米）

神奈川県で最も多く作られているもち品種。収穫時期が遅い品種。